

令和3年度
東2・3丁目中央線舗装補修工事

特記仕様書
(実施)

令和3年7月

大湊村

第1章 総 則

第1節 共通仕様書の適用

本工事の施工に当たっては、「秋田県土木工事共通仕様書（令和2年10月1日以降適用）」を準用し、これに基づいて実施しなければならない。同仕様書に対する特記及び追記事項は、この特記仕様書・現場説明書（条件明示）によるが、これ以外は監督員との協議内容、又は指示に従わなくてはならない。

第2節 工事概要

- (1) 事業種別 : 社会資本整備総合交付金事業
- (2) 工 事 名 : 東2・3丁目中央線舗装補修工事
- (3) 施工場所 : 大潟村地内
- (4) 工事概要 : 施工延長 L=220m 施工幅員 W=6.0m
 - ① 路床安定処理工 A= 1,320 m²
 - ② アスファルト舗装工 A= 1,320 m²

第3節 工期

本工事の工期は以下の期間とする。
契約締結日から令和3年12月15日まで

第4節 環境保全

施工にあたっては、施工現場周辺の機能が本工事によって損なわれないようにしなければならない。

第5節 安全対策関係

安全管理と現場内巡視
道路上の作業及び工事車両の出入り時については特に安全管理を図るものとし、工事中断期間は現場内巡視を行い、安全の確保に努めなければならない。

第6節 デジタル写真管理情報基準

デジタル写真管理情報基準（案）は、最新版の基準によるものとする。

第7節 特定建設資材の分解解体等・再資源化等

本工事における特定建設資材の分解解体等・再資源化等については、工事発注後に明らかになった事情で、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

第2章 材料

第1節 再生資材の使用

本工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材料名	規格	使用箇所	備考
再生クラッシャーラン	RC-40	下層路盤	

- ・使用する再生クラッシャーラン（RC-40）の粒度範囲は、舗装再生便覧の「再生クラッシャーランの望ましい粒度」の規格に適合するものとする。（RC-40を使用する場合に適用）
- ・受注者は、骨材の粒度について確認できる試験結果又は品質を証明する資料を工事に使用する前に監督員に提出しなければならない。

第2節 瀝青材料の使用

本工事に使用する瀝青材料は、次表のとおりとする。

材料名	規格	工種	摘要
アスファルト	再生②密粒度 As(13)	舗装工	
アスファルト	再生②密粒度 As(20)	舗装工	

当工事において使用する再生アスファルト混合物（歩道部は除く）については、熔融スラグ入りを使用すること。なお、やむを得ず熔融スラグ入りアスファルト混合物を使用できない場合には、その理由について監督員と協議のうえ、承諾を得ること。

第3章 検査・品質管理関係

第1節 段階確認

秋田県土木工事共通仕様書(令和2年10月1日以降適用) 段階確認一覧表にて指定された工種について実施するものとする。

第4章 その他

第1節 事前調査

- 1) 本工事を実施するにあたり事前調査（工事測量(縦断・横断)）を行うこと。工事測量の計測間隔は 20m を基本とするが、段差や幅などに変化のある場合は測定箇所を追加すること。
- 2) 請負者は事前調査結果を監督職員に報告しなければならない。事前調査の結果、数量の変更が必要な場合は監督職員に報告すること。事前調査及び施工中に、品質確保上、対策の追加及び修正等が必要になった場合も監督職員に報告すること。

第2節 工事の完成

本工事の受渡しは、監督員の立会試験を受け承認を得て完成届けを提出し、検査職員の検査に合格した後とする。

第3節 完成図書の提出

受注者は、工事完成時に次の報告書を監督員に提出すること。

- (1) 完成図書 2 部
(工事竣工図書、試験・検査成績書、協議議事録、その他維持管理上必要なもの)
- (2) その他監督員が指示するもの。

第4節 その他

本仕様書に明記されていない事項または疑義が生じた場合は、監督員と協議し指示を受けるものとする。やり取りについては、その都度決められた様式にて提出すること。